

市政に関する一般質問

9月会議は20名の議員が質問

北海道日本ハムファイターズによるファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの移転意向表明について

勝又 勝 議員

問 移転後の跡地利用について見解を伺います。

答 球場は土地を含め球団側の所有であるため取得する場合、土地の取得費用は約15億円、建物の取得や新たな建物の設置にはさらに費用が発生します。また、球場を現状

のまま利用するには維持管理費で年間約6千万円、大規模修繕費で1億円超等の経費を要するため市が直接取得することは困難です。なお、球団との意見交換では、将来の跡地利用には市の意向を確認しつつ、今後球団と市とで継続

北千葉道路地下化の是非について

伊藤 仁 議員

問 北千葉道路を地下化する中で鎌ヶ谷区間の一般部の側道をなくすことができ、道路がスリムになり、また、難工事となる京成車両基地の上を通過する一般部を作らなく

てもよいので、工費、工期とも大きく節約でき、現計画の工費の5分の4で済むという概算がありますが、工法の違いによる工費、工期だけでなく、市に対するメリット、デ

公共施設の「見える化」について

水町 元 大 議員

問 施設カルテの先行公開は可能か伺います。

答 市は施設カルテを策定していないため、公開は困難な状況ですが、その基本項目は鎌ヶ谷市有建築物長寿命化計画に掲載しています。

近隣市が施設カルテを策定している理由を伺います。

PFASの公害対策を巡る3つの対応策について

津久井 清 氏 議員

問 PFASを含む井戸水を飲用している住民の血液検査の結果と市の対応を伺います。

答 検査を受けた10名のうち9名から全米科学工学医学アカデミーの指標値である、7種のPFASの合計値が血液

1ml当たり20ngを超える値が検出されました。健康に不安を感じる住民には、市の保健師が直接訪問し、健康相談を行っています。

問 下総航空基地がPFAS濃度軽減工事に至ったのは、

市や住民等の熱心な取組の成果と考えます。今後の市の取組の方向性を市長に伺います。

問 安全な飲用水の恒久的な供給が重要な課題と認識しており、軽井沢地区の上水道敷設を推進しています。今後、原因究明が進む中で、国との協議を深化させる必要がさらに高まることも想定されます。

子どもたちに市議会を身近に感じてもらうため「実際にあった市議会ストーリー」や「市議会での話し合い」「市議会Q&A」などに項目を分けてわかりやすく紹介しています。

市議会ホームページご案内

※中学生版キッズページもあります。

市議会キッズページ

市議会キッズページ

市議会キッズページ

令和8年度予算編成方針について

小易 和 彦 議員

問 市長の予算編成に対する決意を伺います。

答 市の財政状況は、厳しい状況が続くことが予想されますが、まちづくりへの新たな挑戦をしない限り、抜本的な改善は難しいものと考えています。この状況を打開するため、北千葉道路の早期事業化や子育て世代への支援など魅力あるまちづくりを進め、地域の活性化を図る必要があります。これにより、企業の進出や子育て世代の流入が促進され、税収増や雇用創出、にぎわいの創出につながることを期待しており、また、そ

でなければならぬと考えています。市の第2の発展期と考える今、令和8年度予算編成は、市にとって大きな飛躍と未来をつかむための変革や挑戦となり、重要なものになると認識をして予算編成に臨んでいます。



鎌ヶ谷市の街並み

鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」運行計画について

森谷 宏 議員

問 路線ごとの要望及び課題に対する検討内容を伺います。

答 東線、東線2、南線は時刻表の精査やルートの延伸を西線、西線2はバス車両の変更、支払い機器の導入、ルートの変更や延伸等を検討しました。全路線共通の課題ではバス位置情報サービスの導入を検討しました。

問 今後のスケジュールを伺います。

答 鎌ヶ谷市地域公共交通活性化協議会で承認後、バス事業者が国に認可変更の手続きを行い、令和8年4月から運行します。

ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの移転について

徳野 涼 議員

問 ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムへの交付金の実績及び算出根拠を伺います。

答 野球場誘致建設助成金は平成7年度からの2年間で5億円、施設奨励金は平成9年度からの5年間で約3億8千万円に支出しています。

施設奨励金の算出根拠は、固定資産税並びに特別土地保有税に相当する額の全部となります。

問 施設奨励金の算出根拠を基にすると、5年間で4億円

各小中学校施設の断熱改修について

佐藤 剛 議員

問 市内の学校施設の断熱性能について伺います。

答 施設の多くは、昭和40年代から50年代にかけて建築した建物であり、建築物省エネルギー法の適用以前に建築していることから、一次消費エネルギー基準に適合するためには必要となる断熱性能を有していないと考えられます。

断熱改修には、多額の費用を要し、財源の確保が課題となりますが、断熱改修を実施することで省エネルギー性能が向上し、消費エネルギー

本市における障がい児(者)教育の現状と課題について

松原 美子 議員

問 中学校の特別支援学級を卒業した後の進路先について伺います。

答 進路先は県内公立高校、通信制高校、特別支援学校の職業科や普通科があります。

千葉県は、県立の特別支援学校を設置するためには、国の特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえた検討が必要であるとしています。特別支援

中学校の部活動について

針貝 和幸 議員

問 中学校の生徒数の推移を伺います。

答 過去10年間で最も多い生徒数であった、平成27年5月1日現在では、2千830名でしたが、令和7年5月1日現在では、平成27年と比較し、271名減少しています。

問 部活動を理由に学校を選択することは可能ですか。

答 鎌ヶ谷中学校以外の4校であれば、部活動を理由に学校を選択することは可能です。

学校選択制のリーフレット

